

行くぜ！全日青！

## 子どもたちが 教えてくれたこと

伝道担当委員長・山田恵隆

長雨で夏空の訪れが遅く、さらにはコロナ禍。いつもとは違つ夏が終わろうとしています。故郷を離れた家族や友人たちで賑わう8月のお盆も、いつもより帰省する人が少なく寂しいものでした。

「新しい日常」が求められ、思うようにいかず先行き見えぬ日々にはどうして

ても不安定になってしまします。かく言う私も人生の晴れ舞台とも言える日が延期、さらに6月から奉職の第59回布教研修所（半年間にわたる青年僧の研修機関）は開設中止と、この1年の計画が大きく変わってしまいました。



## 以前だって思い通りにならない日常

にとって大切な行事のひとつである子ども修養道場「寺子屋キャンプ」を開催するか悩んでいました。ある時、お寺に遊びに来た子どもから「僕の小学3年生の夏は1回しかないんだよ」と言われ、ハッといたしました。「今年は中止にして来年やればいい。夏はまた来る」と安易に考えていましたが間違っていました。「この夏、この瞬間は一度しかない。だからこそ今できることを精一杯やろう」。そう考え直し、できる限りの感染予防対策をとり、無事に15年目の寺子屋キャンプを納めることができました。

この不都合な世の中も、以前の平穏だった日々も、どちらも日常であり、この瞬間は一度しかない貴重な時間です。私たちは思い通りにならない日常を生きています。

青年僧の皆さん、若さ故に伝わることもありますが、粗削りでもいいので、今だからできること、今しかできないことは何かを考え、共に学び、この時間を重ねながら、私たちが大切にしてきたことを伝えていこうではありませんか。

■秋田県横手市妙倉寺副住職／昭和54年生まれ